

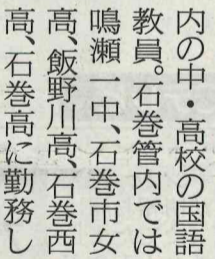
の窓口で申請が必要
 です。地域包括支援
 センターや居宅介護
 支援事業所などでも
 代理申請が可能です。
 す。まずは市や町に
 問合せはいかがでしょうか。
 ですか。
 家族だけで負担す
 るしかなかった介護
 を社会全体で支える
 ことにしたのが「介
 護保険」です。介護が

宅のバリアフリー化
 があります。「ディケ
 ア・サービス」は
 日帰り。
 施設での生活は
 「介護老人保健施設
 (老健)」「特別養護
 老人ホーム(特養)」「
 グループホーム」
 「有料老人ホーム」
 「サービス付き高齢
 者向け住宅」など。
 「ショートステイ」

よ、皆の手を借り大
 切な家族を守って
 きましょう。
 ※ ※
 (問)おむつ交換が思
 いのほか大変です。
 (答)昔、妻は赤子の
 息子のおむつ交換を
 苦もなくやっていた
 ように記憶していま
 す。しかし、高齢者の
 交換はそうはいかな
 いようですね。体の

す。テープ式は介助
 を受ける人に横向き
 になつてもらうと交
 換しやすいです。パ
 ンツタイプは、いす
 に向かい合わせに
 座つて交換するとい
 いでしょう。
 おむつ交換を受け
 る人は、恥ずかしい
 気持ちを持つていま
 す。たとえ家族でも、
 タオルなどで覆つな

昭和21年若手県東
 磐井郡(現一関市)
 生まれ。石巻市で育
 ち石巻小、石巻中、
 石巻高で学ぶ。宮城
 教育大学卒業後、県



内の中・高校の国語
 教員。石巻管内では
 鳴瀬一中、石巻市女
 高、飯野川高、石巻西
 高、石巻高に勤務し
 た。定年退職後、医療
 法人社団仁明会「介
 護老人保健施設恵仁
 ホーム」で、現在は事
 務長の職に就く。東
 松島市新東名在住。

絆力向上シンポジウム 協働連携で脱ニート社会へ

在学中からのサポート重要

引きこもりや不登校
 など課題を抱えた若者
 への支援を考える「い
 しのみまき高校生「絆
 力」向上プロジェクト
 シンポジウム」が18日、
 東松島市コミュニティ
 センター研修室で開か
 れた。「これからの協働
 連携を考える」をテー
 マに、神奈川県など広
 く事業展開する㈱K2
 インターナショナルグ
 ループ湘南・横浜若者
 サポートステーション
 統括責任者の岩本真実
 さんが講演した。
 石巻地方で若年者の
 就学、就労サポートを
 行う認定NPO法人ス

学校の不登校児童数
 は3199人で、1千
 人当たり17・6人(全
 国平均12・6人)は全
 国ワースト。高校も
 1315人で1千人当
 たり21・3人(同14・9
 人)であり、高校の中途
 退学者数は在籍生徒
 数の1・7%に当たる
 1106人にのぼって
 いる。

この日の講演で岩本
 さんは「高校に入る支
 援く様々な連携の形を
 作り、若者を支える」と
 題してK2で展開して
 いる。神奈川県内の事例
 を紹介しつつ、支援の
 在り方を訴えた。
 高齢化の進展とも



事例紹介とともに教育機関との連
 携の重要性を説いた岩本さん

引きこもりは社会的な
 課題として認識されて
 いる一方、支援は民間
 団体に依存している実
 情がある。厚生労働省
 は平成18年度からK2
 をはじめとしたNPO
 法人や民間団体を「地
 域若者サポートステー
 ション(サポステ)」と
 して委託しているが、
 単年度事業が多く、長
 期に見守るべき利用者
 に対し、早期の実績を
 求められるジレンマも

抱えている。
 岩本さんが所属する
 K2では若年者の就労
 支援として、居場所や
 相談だけでなく、共同
 生活や自主展開する飲
 食店での就業体験など
 多様なサポート体制を
 構築している。定時制
 高校と連携も注目さ
 れ、在学生への取り組
 みにも力を入れる。
 岩本さんは若年無業
 者支援について、「これ
 までは福祉と教育の狭
 間だったが、今は両者
 と協働して解決すべき
 課題」と説明。高校連携
 を重要視するように
 なった背景については、
 「早期の立ち直りへは、
 トークも行った。

石巻北高校飯野川校
 進路指導部長の大橋孝
 幸教諭が同校での取り
 組みについて紹介。そ
 の後、講演を踏まえた
 参加者同士のグループ
 トークも行った。

復興支援に特産で返礼

東松島商工会
 の橋本会長

東松島市商工会の橋
 本孝一会長(69)は22
 日、東松島市に特産の
 乾のり約800箱(約
 120万円相当)を寄
 付した。平成25年から
 私費で続けており、今
 年で6回目。橋本会長
 は建設会社の橋本道路

「大曲」社長で、市建
 設業協会の会長も務め
 ている。
 市役所であった贈呈
 式で橋本会長は「震災
 復興支援へのお礼と合
 わせ、のりの宣伝効果
 を高めたい」と語って
 いた。デザインと容量

が異なる2種類の現品
 と目録を受け取った渥
 美巖市長は「企業誘致
 などでも幅広く活用し
 たい」と感謝した。
 乾のりは10枚入り
 が84箱、5帖入りが
 740箱。個人と矢
 本、鳴瀬、宮戸の3漁
 協支所から購入した。
 市は任期を終えて各自
 治体に戻る派遣職員に
 手土産で渡しているほ



目録と化粧箱入りの乾のりを
 手渡す橋本会長(右)

東松島市産のりは高
 品質であ
 り、渥美市
 長は15〜20
 日の日程で
 市と交流が
 深いデン
 マークを訪
 れた際もの
 りを寄贈し
 た。

介護職の再就職研修会 受講者を募集中

宮城県と宮城県社会福祉
 協議会宮城県福祉人材セン
 ター(仙台市青葉区)は、
 今月下旬から県内7会場で
 介護職離職者向けの「再就
 職のための介護研修」を開
 く。石巻地方は特別養護老
 人ホーム仁風園(石巻市大
 森字内田)を会場に2月13
 日14日に実施。定員は先着
 20人程度で同10日午前(必
 着)まで申込みを受け付け
 ている。

石巻は2月に仁風園で開催

対象は年齢不問だが介護
 業務経験を優先。離職者が
 安心して現場に復帰できる
 よう介護保険制度の動向、
 施設などの福祉サービスや
 従事する職員としての心構
 えを研修や職場見学を通し
 て習得する。
 2日間のうち1日目は基
 礎編で、認知症のケア、タ
 ミナルケア、医学知識など
 を学ぶ。2日目は応用編講
 義と実技で介護業務の専門

性と職業倫理、介護支援技
 術、災害時対応の認識を深
 める。施設見学や職場体験
 も行う。
 参加費無料。時間は13日
 が午前9時半〜午後3時
 半、14日は午前9時半〜午
 後4時。
 受講希望者は同人材セン
 ター(☎022-262-
 9777、ファクス022-
 261-9555)まで問合
 せのこと。研修会終了後に求
 職活動実績に必要な参加証
 明書を希望者に交付する。

A3 ①延縄

丹後のくじ延縄漁業は、約1キロの幹縄
 に取り付けられた100本ほどの枝縄に
 針を付けた仕掛けを海に入れ、しばらく
 待った後引き上げる漁法。一つの延縄で
 漁獲できるくじは数匹程度。平成24年に
 京のブランド産品に認証された。

より早い段階での出会
 いが必要」とした。
 具体の連携事業につ
 いても語った上で、「若
 年者と在学中の生徒を
 別枠で考えがちだが、
 高校は就労への最後の
 砦(とりで)でもある。
 可能なら中学校時代か
 らの支援が望ましく、
 若者支援をしつかりと
 国で制度化しなくては
 いけない」との見解を
 示した。